



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月11日

上場取引所 札

上場会社名 株式会社 クワザワ

コード番号 8104 URL <http://www.kuwazawa.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桑澤 嘉英

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 三田 久郎

TEL 011-864-1112

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	15,599	11.2	△146	—	△133	—	△126	—
23年3月期第1四半期	14,029	△4.0	△339	—	△313	—	△149	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △127百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △184百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△15.26	—
23年3月期第1四半期	△18.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	29,519	7,933	23.5
23年3月期	29,676	8,104	24.0

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 6,943百万円 23年3月期 7,115百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	5.00	5.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	32,000	△6.4	△200	—	△200	—	△220	—	△26.46
通期	77,000	1.2	450	△9.8	450	△20.9	300	△38.4	36.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	8,347,248 株	23年3月期	8,347,248 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	32,727 株	23年3月期	32,727 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	8,314,521 株	23年3月期1Q	8,315,525 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月に発生した東日本大震災の影響により、経済活動の低下や電力の安定供給に対する不安などから先行き不透明感が一層強まりましたが、その後、次第にサプライチェーンの復旧が進み、緩やかながらも状況は回復傾向をたどりました。

当社グループの位置する建設関連業界におきましては、政府の住宅取得促進施策等の効果により新設住宅着工戸数が持ち直しの動きを見せました。

このような環境において、当社グループでは、東日本大震災の被災地における復旧関連資材および仮設住宅資材などの需要に積極的に対応しました。また、主な営業基盤である北海道においては、公共投資が減少する一方、民間の新築マンションや医療機関関連の建替え、修繕などの需要に対する積極的な営業が実を結び、セメント・生コンクリートなどの建設資材が好調に推移しました。

この結果、当第1四半期の業績は売上高が155億99百万円（前年同期比111.2%）、営業損失は1億46百万円（前年同期は営業損失3億39百万円）、経常損失は1億33百万円（前年同期は経常損失3億13百万円）、当期純損失は1億26百万円（前年同期は当期純損失1億49百万円）となりました。

なお、当社グループの第1四半期業績は、建設工事の完工時期が下期中心となるため、利益面において著しく低下する季節特性があります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

建設資材

公共工事は依然として減少傾向にあるものの新築マンションや医療機関関連の建築需要が底堅く、セメント・生コンクリート分野の売上が伸びを見せたことから、売上高は108億83百万円（前年同期比114.4%）、セグメント利益は85百万円（前年同期比437.7%）となりました。

建設工事

大型工事の減少により売上高は28億3百万円（前年同期比97.9%）となりましたが、利益率の改善からセグメント損失は1億33百万円（前年同期はセグメント損失2億11百万円）となりました。

石油製品

原油価格が比較的堅調に推移したことや販売数量の増加により、売上高は14億97百万円（前年同期比122.6%）となり、セグメント利益は4百万円（前年同期はセグメント損失12百万円）となりました。

資材運送

競争激化による輸送単価の低下から、売上高は3億48百万円（前年同期比98.5%）となりましたが、経費等の削減に努めた結果セグメント利益は32百万円（前年同期比137.4%）となりました。

その他

売上高は67百万円（前年同期比87.5%）、セグメント利益は21百万円（前年同期比165.3%）となりました。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年5月12日に公表の第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」第19項の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する実務指針」第12項（法定実効税率を使用する方法）に準じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,334	3,375
受取手形及び売掛金	14,728	14,023
商品及び製品	618	617
販売用不動産	1,774	1,791
未成工事支出金	1,017	2,413
原材料及び貯蔵品	11	11
その他	656	703
貸倒引当金	△88	△76
流動資産合計	23,051	22,859
固定資産		
有形固定資産	4,336	4,397
無形固定資産	84	76
投資その他の資産		
その他	2,474	2,463
貸倒引当金	△269	△277
投資その他の資産合計	2,204	2,185
固定資産合計	6,625	6,659
資産合計	29,676	29,519
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,710	15,551
短期借入金	990	850
1年内返済予定の長期借入金	709	708
未払法人税等	36	32
賞与引当金	170	61
工事損失引当金	9	8
完成工事補償引当金	55	58
訴訟損失引当金	52	52
災害損失引当金	11	10
その他	984	1,606
流動負債合計	18,728	18,941
固定負債		
長期借入金	1,798	1,621
退職給付引当金	308	295
負ののれん	10	9
資産除去債務	16	18
その他	710	699
固定負債合計	2,843	2,644
負債合計	21,572	21,585

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	417	417
資本剰余金	318	318
利益剰余金	6,345	6,177
自己株式	△9	△9
株主資本合計	7,072	6,903
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43	39
その他の包括利益累計額合計	43	39
少数株主持分	988	989
純資産合計	8,104	7,933
負債純資産合計	29,676	29,519

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	14,029	15,599
売上原価	12,993	14,393
売上総利益	1,036	1,206
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	616	610
その他	759	741
販売費及び一般管理費合計	1,375	1,352
営業損失(△)	△339	△146
営業外収益		
受取利息	6	7
受取配当金	5	6
負ののれん償却額	13	0
持分法による投資利益	1	1
雑収入	36	39
営業外収益合計	64	55
営業外費用		
支払利息	30	25
債権売却損	5	7
雑損失	2	9
営業外費用合計	38	42
経常損失(△)	△313	△133
特別利益		
固定資産売却益	20	0
貸倒引当金戻入額	13	—
保証債務取崩額	4	—
訴訟損失引当金戻入額	88	—
特別利益合計	126	0
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	0	1
減損損失	8	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	14	—
特別損失合計	23	1
税金等調整前四半期純損失(△)	△210	△134
法人税等	△56	△10
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△154	△123
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△4	2
四半期純損失(△)	△149	△126

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△154	△123
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△30	△3
その他の包括利益合計	△30	△3
四半期包括利益	△184	△127
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△179	△130
少数株主に係る四半期包括利益	△5	2

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	建設資材	建設工事	石油製品	資材運送	計				
売上高									
外部顧客への売上高	9,514	2,862	1,221	353	13,952	77	14,029	—	14,029
セグメント間の内部 売上高又は振替高	300	18	20	105	445	12	457	△457	—
計	9,815	2,881	1,242	459	14,397	89	14,487	△457	14,029
セグメント利益 又は損失(△)	19	△211	△12	23	△181	12	△168	△170	△339

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、損害保険代理店事業および車両整備事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△170百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△179百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	建設資材	建設工事	石油製品	資材運送	計				
売上高									
外部顧客への売上高	10,883	2,803	1,497	348	15,532	67	15,599	—	15,599
セグメント間の内部 売上高又は振替高	325	48	27	104	505	12	517	△517	—
計	11,209	2,851	1,524	452	16,037	80	16,117	△517	15,599
セグメント利益 又は損失(△)	85	△133	4	32	△11	21	9	△156	△146

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、損害保険代理店事業および車両整備事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△156百万円には、セグメント間取引消去12百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△168百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。